

福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成（概要）

【総括】連携先事業所：のべ約150事業所

平成31年4月
福島県教育委員会

トップリーダーの育成

磐城高等学校 【いわき市】

「福島スーパー・イノベーション・ハイスクール」として、可能性に挑戦し、構想を牽引するトップリーダー、地域活性化を促す知的集団を育成

【取組事例】

- 最先端分野の学習
福島ロボットテストフィールド、櫛葉遠隔技術開発センターへの視察及び地元のロボット開発企業と連携した体験学習を実施した。
- 地域理解に向けた探究活動
地域企業、自治体およびNPO法人等(14事業所)との連携したワークショップを開催し、地域社会・地域産業への理解を深めた。
- 高度な探究活動
フィールドワークの実績報告等に関してタブレット等のICT機器を活用し、プレゼン力の向上に努めた。また津波被災地区に関する探究活動については、被災地域にドローンを飛行させ、その映像をリアルタイムで観覧し、復興の状況を確認した。

相馬高等学校 【相馬市】

エネルギー分野を中心に地域の技術革新について多角的に理解を深め、地域の復興と再生に寄与するトップリーダーを育成

【取組事例】

- エネルギー分野の理解の深化
エネルギー分野の有識者を招聘し、福島県のエネルギーへの取組、状況等を学んだ。
- 地域の次世代型エネルギー施設の見学
福島県ハイテクプラザを訪問し、公設試験研究機関の取組、県内企業の高い技術力及び福島再生可能エネルギー研究所における世界最先端の再生可能エネルギー技術を学んだ。
- 英語によるプレゼン力育成
上記で学んだ知識を海外発信するために、ブリティッシュヒルズ研修を通じて、英語力及びプレゼン力向上に努めた。

原町高等学校 【南相馬市】

浜通り地域の産業基盤の再構築に向け、知識・技能・意欲を持つ、未来を担うトップリーダーを育成

【取組事例】

- フィールドワーク学習
産業総合研究所、福島再生可能エネルギー研究所等への視察及び経済産業省の担当者からの講話を通じて、福島イノベーションコースト構想を取り巻く社会動向・構造を理解した。
- 国際的な発信力強化
地域のNPO法人等とのワークショップで学んだ地域に関する課題について国際的な発信をするために、国際交流員と連携し、英語力及びプレゼン力の向上に努めた。

【目指す人材像】新たな産業の創出・集積に資する研究者や経営者・起業家等、トップリーダーとして構想を牽引し、浜通り地域・日本、国際社会で活躍できる人材を育成する。

農水産業人材の育成

いわき海星高等学校 ※新規 【いわき市】

現代社会に必要な水産業に柔軟な考えを持つ人材を育成

- 先端的技術（ドローン等）を利活用した学習
構想で想定されている先端技術を、水産分野への本格的な応用に繋げることに挑戦。
- 福島県の水産業・水産研究の理解を深める学習
ふくしま型の新たな水産業のあり方について考える。
- 先進的な養殖業の取組に触れるなど、水産業の全体像を理解
「獲る」だけに留まらない水産業全体の営み（養殖、加工、出荷、販売）を俯瞰することでキャリア選択の視野を広げる。

磐城農業高等学校 【いわき市】

最先端農業技術を習得し、次世代農業の担い手として地域農業に貢献できる人材を育成

【取組事例】

- 6次化(販売戦略)および堆肥の有効活用研究：食品流通科
企業から専門家を招き、6次化の知識、効果的な広報について学んだ。また、東北大学の指導により、今後のエネルギー供給に不可欠なバイオマス発電について学んだ。
- 先端技術学習：園芸科
地元企業の閉鎖型植物工場等を見学し、最新の農業技術を学んだ。
- 造園・測量に関する学習：緑地土木科
2、3年生がドローン操作技術について学んだ。また、壁面緑化等の先進的な造園技術を習得するため、高い技術力を有する企業と連携し、環境調和に関する知識を高めた。
- 農福連携：生活科学科
地元の医療系企業、介護ロボット開発企業や障がい者雇用に取り組むワイナリーなどの見学・学習により、農福連携への理解を深めた。

相馬農業高等学校 【南相馬市】

イノベーションをもたらす先進農業を理解し、農業教育を通じた心身ともに健全な人材を育成

【取組事例】

- 地域農業を深く知る農業実習
水稻、菌床栽培及び和牛繁殖等の農家と連携し、地域の農家・農業法人のもとで集中的に農業実習を行い、農業の面白さや将来の可能性を体感した。
- 先端技術を活用した農業の学習
先端技術を活用した農業の理解を深めるため、地域の植物工場等へ視察した。
- 南相馬の地域ブランド加工品等の開発
地域の農産物を利用した南相馬ブランド商品等の開発に取り組むための視察をした。

【目指す人材像】6次産業化や先端技術の活用、販売・経営力の向上など、地域でイノベティブな農業を展開できる人材を育成する。

工業人材の育成

平工業高等学校 【いわき市】

新たな産業集積に対応し、イノベーションをもたらす高度な技術と情報発信力を備えた次世代の工業人を育成

【取組事例】

- 地域をけん引する産業人材の育成
地域を支える多くの地域企業と連携し、産業や先端技術への理解を深めた。さらにはベンチャー企業とも連携し、高度な技術だけではなくアントレプレナーマインドも育んだ。
- マーケティング、プレゼンテーションスキルの向上
次世代工業人の育成に向けて、マーケティング業界のトップリーダーを招聘し、マーケティングの知識、プレゼンテーションスキルの向上に努めた。
- 地域の魅力発信活動
プレゼンカスキルで培った知識を活用し、地域産業の魅力及び学校の取組を対外的に発信できる資料を作成した。

勿来工業高等学校 【いわき市】

再生可能エネルギーやロボットに関する先端技術を理解し、地域に根ざした地域産業や復興を支える職業人を育成

【取組事例】

- 再生可能エネルギーに関する学習
福島再生可能エネルギー研究所から専門家を招聘し、再生可能エネルギーに関する講義を実施し、再生可能エネルギーについて体系的に理解した。
- 磐城農業高校との連携
課題研究発表会に磐城農業高校（緑地土木科）を招き、今後両校で連携して行う研究テーマなどを調整中である。

川俣高等学校 【川俣町】

地域の先端技術を理解し、新しい時代に向かって主体的にたくましく生き抜く人材を育成

【取組事例】

- 地域産業の先端技術理解
先端技術を有する地域企業からの技術指導を通じて、興味・関心や技術力を育んだ。また高い技術力を持つ地域企業と連携し、より実践的な技術力の向上に努めた。
- 次世代の技術を実践するための課題研究
技術革新をテーマとした課題研究を実施し、機械科での学びを基盤とした先端技術との関連性を理解するとともに、技術力の向上に努めた。また次年度からは近畿大学との連携を更に深める予定である。

【目指す人材像】専門的知見を有し、再生可能エネルギーやロボットなど新たな産業を担う高い資質を持った人材を育成する。

先行して取り組んでいる県立高校

ふたば未来学園高等学校 【広野町】

原子力災害から復興を果たすグローバル・リーダーの育成というスローガンの下、アクティブラーニングを展開し、変革者を育成

- 「産業社会と人間」における探究活動
- 「未来創造探究」における地域復興の探究と実践
- 海外研修・世界への発信
- 各教科「主体的・対話的で深い学び」の展開
- 「社会起業部」の取組 等

小高産業技術高等学校

【南相馬市】

商業科と工業科の学科間相互学習計画(Cross Training Program)及び産業革新科を新設、先端技術学習や地域探究を図ることで、地域の復興を担う人材を育成

- スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業
- ふくしまの未来を拓く産業人材育成事業「専門高校生による小中学生体験学習応援事業」
- 講演会やフィールドワーク等の実施
- 地域企業と連携したキャリア教育の実施 等

連携して取り組む主な高等教育機関

福島工業高等専門学校

高専独自のネットワークや教員陣・高度な研究施設を生かし、福島県浜通り地域を中心に原発事故収束・環境回復や環境安全等、地域の復興に貢献し、新たな技術や産業を創出していく人材を育成

この他、県内外の大学や研究機関と連携。